小規模多機能ホームゆかい西野

運営推進会議　報告書

事 業 所 名：小規模多機能ホームゆかい西野

住　　　　所：札幌市西区西野6条9丁目1番12号

サービス種類：小規模多機能型居宅介護

日 　　　　 時： 令和６年１月２４日

場 　　　　 所： 小規模多機能ホームゆかい西野

委 　　　　員：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者代表  | 2人  | 知見を有する者・地域住民  | 2人  |
| 利用者家族  | 0人  | 包括支援センター職員  | 2人  |
| 地域住民の代表 | 0人  |   |  |
| 事業所職員 （職名：管理者、介護主任、介護従業員等）  | 6人  |

１.報告事項：

1. **利用者の状況**

登録者数及び男女比

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|   | 10月 | 11月 | 12月 |
| 登録数 | 6名 | 7名 | 10名 |
| 男性：女性  | 2：4 | 1：6 | 2：8 |

地域

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|   | 10月 | 11月 | 12月 |
| 西野 | 4名 | 3名 | 3名 |
| 平和 |  | 1名 | 1名 |
| 西町 | 1名 | 1名 | 1名 |
| 八軒 |  | 1名 | 2名 |
| 二十四軒 |  | 1名 | 1名 |
| 手稲区西宮の沢 |  |  | 2名 |

要介護度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要支援１ | 要支援２ | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 変更申請中 |
| 10月 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11月 | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 12月 | 0 | 0 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 |

**（2）環境作り**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 毎日の生活にコーヒーの香り |
| 12月5日 | ポプリづくり |
| 12月19～25日 | クリスマス会 |
| 12月22日  | 冬至でお団子 |
| 12月31日 | お正月の飾りつけの準備 |

**（3）利用者の生活、地域とのつながりをもつ取組**

・地域の理容室に外出支援

・ユニクロへの買い物

・買い物代行支援

・ファミリーマート西野店外出

・スタッフの子どもたちとの交流

・一人暮らしの方の年末の買い物支援

**（4）質を向上するための取組**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 8月1日 | 事業所研修 | 立ち上がり仕組みについて | 黒澤智尚 |
| 8月1日 | 事業所研修 | ケアについて | 黒澤智尚 |
| 8月17日 | Zoom研修 | 虐待防止研修 | 菊池雅洋氏 |
| 8月31日 | 事業所研修 | 放射線って？ | 前田昌直氏 |
| 12月14日 | 事業所研修 | 認知症の方とのコミュニケーション | 外部講師：野村慎哉氏 |

**（5）事業所の地域参加**

|  |  |
| --- | --- |
| 8月14日 | 西区第一町内会子ども盆おどり　設営参加 |
| 8月15日 | 西区第一町内会子ども盆おどり　片付参加 |
| 10月15日 | 西区第一町内会運動会　準備・運営参加 |

**（6）事業所の取り組み**

　・iPadを使用して、難聴の利用者さんとの筆談

　・訪問歯科を利用し、自宅にて義歯調整

　　今後、歯科連携医療機関として、ひだまり歯科さんと連携予定。

　・職員との交流を深めるための忘年会の実施。

　・ITを意識した、研修の振り返りの機会

２.意見・アドバイス

 松本さん、石田さん、山田さん、岡さん

* 支援の方もいるのでしょうか→以前、支援の方が要介護になった
* 微妙な要支援の方を買い物に連れて行ってくれ事はとても良いと思っています。
* 小多機がどこまで対応してくれるのか、良く分からない所があるので、教えてほしい。
* 普段の状況を教えてもらい、小多機さんの内容が良く分かった。
* 単発でサービスを含め、プランを組んだ方が良いのかが以前はわからなかった。
* 何か現状で課題などあれば、教えてほしい。→事業所評価総括を参照。
* 地域に向けての、当事業の活動を発信できていない。→どうやって広めていくかが課題だと考えている。
* 利用者さんのナラティブを利用して、柔軟に対応していることは良いことだと思います。
* 前会も参加して、支援は課題があると思うが、その中でチョットした事を考えて、利用者さんに対応していることは素晴らしい。
* 家族が離れている所で、対応されていることが素晴らしい。その中でどうやって医療機関と関われたらを、考えられることが良いことだと思う。
* 医療機関として、ACPについて悩ましいときがある
* 病院が困ったときに助けられるような、施設にしていきたい。
* いかに小回りが利くかが小多機の良いところなので、個別にどう対応できるかをケアマネにもう少しわかってほしいが、ここの利用者さんはこの件に対応できていて、とても良いと感じている。小多機にしかできない事が、他の施設にも広がってほしい。
* 長く小多機をやっていると小回りが利かなくなる。そこを拾っていってもらいたい。
* そこを拾っていけば、ACPにも生きていくと思います。→小多機は個別ケア、トライ&エラーができる事が良いところ。
* 老健からの中継ぎを頑張ると良いのかなと思います。ただし上手に運営している所へ（笑）
* 老健に種まきをしにいくと良いのでは？！
* （Ｏさん）介護のことに詳しくないので、困ることがある。料金が発生する手前の方に対して、何か支援はできないのでしょうか。

３.次回開催

令和5度 　第3回 　2月末に開催いたします。

感染状況によっては、変更になる可能性もあります。